

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公開番号】特開2008-23099(P2008-23099A)
 【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)
 【年通号数】公開・登録公報2008-005
 【出願番号】特願2006-199409(P2006-199409)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月21日(2009.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を有し、当該遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技盤と、
 前記遊技盤の盤面に設けられ、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け入れ可能な始動口と、

前記始動口への遊技球の受け入れを検出し、当該遊技球の受入検出に応じて受入信号を出力する受入検出装置と、

賞としての所定量の遊技球を遊技者に与える遊技球付与手段と、

前記受入検出装置から出力された受入信号を受信し、当該受信した受入信号の検知を行う受入検知手段、

前記受入検知手段によって受入信号の受信が検知されたことに基づいて、前記遊技球付与手段を通じた遊技球の付与制御を行う遊技球付与制御手段、

前記受入検知手段によって受入信号が検知されたことに基づき、遊技者に有利な大当たり遊技の実行契機となる大当たりについての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段、

および、前記抽選手段による抽選処理において大当たりに当選したことに基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段、

を少なくとも有する遊技制御手段と、を備え、

前記始動口には、可動部材を有する特定始動口が含まれており、

前記特定始動口から遊技盤の奥側に向けた方向には、当該特定始動口から受け入れた遊技球の通路となる特定始動受入通路が形成されており、

前記可動部材は、

前記特定始動受入通路内に收容される收容位置と、前記遊技盤の盤面から遊技者側に向けて突出する突出位置と、の間で変位可能であって、当該突出位置にあるときに、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け止め可能であり且つ当該受け止めた遊技球を前記特定始動受入通路に誘導可能であると共に、当該突出位置から当該收容位置への切り替わりに際して受け止めた遊技球を溢す受止誘導部材、

および、前記特定始動口の開口領域を小さくする狭小位置と、当該狭小位置よりも前記

特定始動受入通路内側であって且つ当該特定始動口の開口領域を当該狭小位置にあるときよりも大きくする広大位置と、の間で変位可能であって、当該狭小位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが不可能である一方、当該広大位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが可能となる受入防止部材、

を有しており、

前記可動部材を有する特定始動口は、前記受止誘導部材および前記受入防止部材を有する前記可動部材を構成要素とする特定始動口のみから構成されており、

前記遊技制御手段は、

前記受止誘導部材を、前記収容位置から前記突出位置に変位させる可動制御を行う受止誘導可動制御手段、

前記受入防止部材を、前記狭小位置から前記広大位置に変位させる可動制御を行う受入防止可動制御手段、

をさらに備える遊技機であって、

前記遊技制御手段は、前記受止誘導可動制御手段による可動制御及び前記受入防止可動制御手段による可動制御を通じて前記特定始動口への遊技球の受け入れを所定の期間だけ可能とする特定始動口開放中ジョブ、を含む複数のジョブを順次実行することにより前記可動部材の可動にかかる各種の制御を統括するものであり、

前記受止誘導部材の前記突出位置から前記収容位置への切り替わりに際して溢し損ねた遊技球が前記特定始動口に受け入れられ得る期間中であるか否かを判断する期間判断手段と、

前記特定始動口への遊技球の受け入れが前記受入検知手段による前記受入信号の受信として検知されたとき、当該受入信号の検知が有効であるか否かを判定する有効判定手段と

、

前記有効判定手段により前記受入信号の検知が有効でないと判定されたとき、不正な遊技が行われた旨を示説する不正示説手段と、を備え、

前記有効判定手段は、前記遊技制御手段により実行されているジョブが前記特定始動口開放中ジョブであること、及び、前記期間判断手段により前記特定始動口に受け入れられ得る期間中である旨判断されること、のいずれかの条件が満たされることに基づいて前記受入信号の検知が有効である旨判定するものであり、

前記遊技球付与制御手段は、前記特定始動口への遊技球の受け入れが前記受入検知手段による前記受入信号の受信として検知されたときは、前記有効判定手段による判定の結果にかかわらず、前記遊技球付与手段を通じた遊技球の付与制御を行う

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記抽選手段は、前記受入検知手段によって受入信号が検知されることに基づいて乱数を取得し、該取得した乱数に基づいて前記抽選処理を行うものである

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記抽選手段による抽選処理の結果としての当たりには、前記大当たりが少なくとも含まれており、前記抽選手段は、前記当たりに落選する確率よりも前記当たりに当選する確率のほうが高くなるように前記抽選処理を行うものである

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明では、遊技領域を有し、当該遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技盤と、前記遊技盤の盤面に設けられ、前記遊技領域に

向けて打ち込まれた遊技球を受け入れ可能な始動口と、前記始動口への遊技球の受け入れを検出し、当該遊技球の受入検出に応じて受入信号を出力する受入検出装置と、賞としての所定量の遊技球を遊技者に与える遊技球付与手段と、前記受入検出装置から出力された受入信号を受信し、当該受信した受入信号の検知を行う受入検知手段、前記受入検知手段によって受入信号の受信が検知されたことに基づいて、前記遊技球付与手段による遊技球の付与制御を行う遊技球付与制御手段、前記受入検知手段によって受入信号が検知されたことに基づき、遊技者に有利な大当たり遊技の実行契機となる大当たりについての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段、および、前記抽選手段による抽選処理において大当たりに当選したことに基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段、を少なくとも有する遊技制御手段と、を備え、前記始動口には、可動部材を有する特定始動口が含まれており、前記特定始動口から遊技盤の奥側に向けた方向には、当該特定始動口から受け入れた遊技球の通路となる特定始動受入通路が形成されており、前記可動部材は、前記特定始動受入通路内に収容される収容位置と、前記遊技盤の盤面から遊技者側に向けて突出する突出位置と、の間で変位可能であって、当該突出位置にあるときに、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け止め可能であり且つ当該受け止めた遊技球を前記特定始動受入通路に誘導可能であると共に、当該突出位置から当該収容位置への切り替わりに際して受け止めた遊技球を溢す受止誘導部材、および、前記特定始動口の開口領域を小さくする狭小位置と、当該狭小位置よりも前記特定始動受入通路内側であって且つ当該特定始動口の開口領域を当該狭小位置にあるときよりも大きくする広大位置と、の間で変位可能であって、当該狭小位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが不可能である一方、当該広大位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが可能となる受入防止部材、を有しており、前記可動部材を有する特定始動口は、前記受止誘導部材および前記受入防止部材を有する前記可動部材を構成要素とする特定始動口のみから構成されており、前記遊技制御手段は、前記受止誘導部材を、前記収容位置から前記突出位置に変位させる可動制御を行う受止誘導可動制御手段、前記受入防止部材を、前記狭小位置から前記広大位置に変位させる可動制御を行う受入防止可動制御手段、をさらに備える遊技機であって、前記遊技制御手段は、前記受止誘導可動制御手段による可動制御及び前記受入防止可動制御手段による可動制御を通じて前記特定始動口への遊技球の受け入れを所定の期間だけ可能とする特定始動口開放中ジョブ、を含む複数のジョブを順次実行することにより前記可動部材の可動にかかる各種の制御を統括するものであり、前記受止誘導部材の前記突出位置から前記収容位置への切り替わりに際して溢し損ねた遊技球が前記特定始動口に受け入れられ得る期間中であるか否かを判断する期間判断手段と、前記特定始動口への遊技球の受け入れが前記受入検知手段による前記受入信号の受信として検知されたとき、当該受入信号の検知が有効であるか否かを判定する有効判定手段と、前記有効判定手段により前記受入信号の検知が有効でないと判定されたとき、不正な遊技が行われた旨を示説する不正示説手段と、を備え、前記有効判定手段は、前記遊技制御手段により実行されているジョブが前記特定始動口開放中ジョブであること、及び、前記期間判断手段により前記特定始動口に受け入れられ得る期間中である旨判断されること、のいずれかの条件が満たされることに基づいて前記受入信号の検知が有効である旨判定するものであり、前記遊技球付与制御手段は、前記特定始動口への遊技球の受け入れが前記受入検知手段による前記受入信号の受信として検知されたときは、前記有効判定手段による判定の結果にかかわらず、前記遊技球付与手段による遊技球の付与制御を行うことを要旨とする。

また、請求項 2 に記載の発明では、請求項 1 に記載の遊技機において、前記抽選手段は、前記受入検知手段によって受入信号が検知されることに基づいて乱数を取得し、該取得した乱数に基づいて前記抽選処理を行うものであることを要旨とする。

また、請求項 3 に記載の発明では、請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、前記抽選手段による抽選処理の結果としての当たりには、前記大当たりが少なくとも含まれており、前記抽選手段は、前記当たりに落選する確率よりも前記当たりに当選する確率のほうが高くなるように前記抽選処理を行うものであることを要旨とする。